

# 幌内エリア

おすすめ情報!

## 石炭を輸送した日本初の産業鉄道と炭鉱の歴史を知ることができるエリア。

旧幌内炭鉱施設群は閉山した現在でも選炭場や坑口、変電所など北海道最初の大規模近代炭鉱施設が数多く残されている貴重な場所となっています。特に旧幌内炭鉱変電所はレンガ造りのレトロな外観から映画やCM撮影などで使用されたこともあり、隠れた人気スポットです。

また、幌内炭鉱で採掘された良質な石炭を輸送するために建設された幌内線は、廃線後再利用され、トロッコが運行。幌内鉄道の偉業と北海道鉄道の歴史を学ぶことができる三笠鉄道記念館やSLの動態保存やミニ新幹線など鉄道に関連する乗り物がある三笠鉄道村は家族連れの観光客で賑わっているほか、日本国内で唯一、本物のSLの運転体験ができることでも知られており、道内外から貴重な体験を求めて来られる方々も数多くいます。



▲旧幌内炭鉱変電所



▲旧幌内炭鉱施設群



▲トロッコ鉄道



このマークはおすすめメニューです。三笠市のグルメをご堪能ください。



### 17 高島屋食堂

【住】本町226  
【Tel】01267-2-2650  
【営】11:00~19:00  
(火曜日のみ15:00まで)  
【休】水曜日  
① ロースカツカレー  
② ジャンボザンギ

# 幾春別・桂沢エリア

おすすめ情報!

## 三笠の歴史を体験・一望できるエリア。

かつて幾春別炭鉱と奔別炭鉱の二大炭鉱により栄えた幾春別市街地は、百貨店や飲食店、劇場などが軒を連ね三笠一の繁華街でした。しかし、炭鉱閉山後は、この地域の人口が大きく減少しましたが、大正時代の建物が残る「更科食堂」など当時の面影を見ることが出来ます。幾春別の栄華を支えた二大炭鉱の一つである奔別炭鉱は、当時の技術の粋を集めた施設であり、規模・設備とも東洋一の炭鉱と呼ばれ、立坑櫓やホッパーなど貴重な施設を見ることが出来ます。また、幾春別炭鉱は、三笠市立博物館の裏側にある野外博物館の見所として錦立坑櫓が現存しています。野外博物館とは、炭鉱遺産のほか1億年前と5000万年前の地層を見ることができ、大地の記憶や人々の営みの記憶などがひとまたぎで体感できるルートであり、サイクリングロードとしても人気の場所となっています。また、1億年前に生きていたアンモナイトなどの様々な生き物たちの姿を化石として観察することができ、採掘した貴重な化石を見ることができる三笠市立博物館も人気があり、その化石数は約600点にのぼり「化石の博物館」として全国的な有名な博物館です。次に、桂沢エリアには、太古の岩石が練りこまれた桂沢ダムやその周辺地域には、子どもたちにも人気の「ファミリーランドみかさ遊園」などがあります。



▲三笠市立博物館



▲旧奔別炭鉱



▲野外博物館



### 28 更科食堂

【住】幾春別町1丁目174  
【Tel】01267-6-8323  
【営】11:00~15:00  
【休】月・火曜日

① ざるそば



### 31 Geovillage (ジオヴィレッジ)

【住】西桂沢6  
【Tel】01267-3-4008  
【営】11:00~18:00  
(18:00以降予約)  
【休】水曜日

① タンシチューセット  
② デザートセット

## 三笠鉄道跡探訪の旅 旧幌内鉄道駅を訪ねて



旧三笠駅



旧弥生駅



旧萱野駅



旧唐松駅



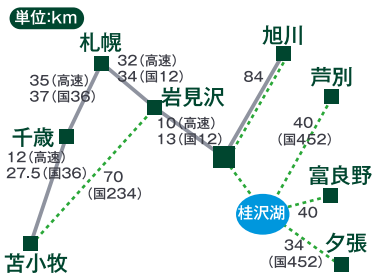
旧幾春別駅

## ACCESS



### お車の場合

- 札幌から
  - ・道央自動車道 (42km:約30分)
  - ・国道12号 (55km)
- 旭川から
  - ・道央自動車道 (84km:約60分)
  - ・国道12号線 (84km)
- 新千歳空港から
  - ・道央自動車道 (90km:約80分)



# Mikasa Cycling Map みかさサイクリングマップ



# 岡山・萱野・達布・大里エリア

おすすめ情報!

## 三笠の玄関口であり、農地や商業施設などが広がる恵みのエリア。

国道12号線を走る岡山エリアは、北海道で最初に登録された道の駅の他に、商業施設や工業団地などが建ち並びます。トイレや温泉施設、コンビニなどを併設した「道の駅みかさ」では、年間多くの観光客が訪れ、市内で収穫された新鮮な野菜や名物の焼き鳥、石炭ザンギなどが人気です。また、道の駅みかさ内にある「三笠市観光協会」では、三笠市の観光パンフレット等を設置し、市内の観光情報を発信しており、その隣には「食の蔵」があり、三笠の農産物や加工品などが販売されていて、多くの来客者で賑わっています。次に、萱野・大里エリアは、広大な田園風景が広がり、平坦な道が続いていきます。季節になるとメロンやすいか、玉ねぎ、お米など三笠を代表する農作物が多く栽培されています。最後に達布エリアでは、小高い山の斜面を利用して、ワインぶどうが多く栽培され、北海道を代表するワイナリーやヴィンヤードが点在しています。「タップ」という名前は、アイヌ語で「タブ・コブ」と呼ばれ、頂きの丸い山を意味する達布山を空知集治監建設調査に訪れた、初代典獄「渡辺惟精」によって名付けられたとされています。



▲道の駅三笠



▲山崎ワイナリー



▲達布山展望台



### 5 畑の中のレストラン EKARA

【住】萱野158-1  
【Tel】01267-2-5530  
【営】夏期 11:00~15:30 (LO14:30)  
18:00~20:30 (LO19:30)  
冬期 11:00~15:00 (LO14:00)  
18:00~20:00 (LO19:00)  
【休】夏期 火曜日 冬期 月・火曜日  
① 石窯焼きピッツァ、薪で焼いた野菜とお肉  
② 自社農園の新鮮な野菜

# 三笠市街エリア

おすすめ情報!

## 開拓を担った空知集治監の囚人たちの記憶をたどり彼らの足跡をみつけることができるエリア

三笠市本郷町にある旧空知集治監典獄官舎レンガ煙突は、その名の通り、かつて空知集治監の初代典獄(刑務所長)官舎があり、集治監を訪れた偉人や要人が宿泊したとされています。空知集治監は、重犯罪者や政治犯などが収監され、石炭の採掘を目的として、炭鉱労働に従事させるため、道内で一番多く囚人たちが集められました。また、空知集治監の裏側にあり、山の形が奈良の三笠山と似ていたことから「三笠山」と名付けられ、現在では春になると桜の名所知られる「観音山」や道路開拓や炭鉱労働を担い、病気やケガ、事故等により20年間で約1,000人が亡くなったとされ、囚人たちの遺骨を集めた千人塚史跡公園など囚人達の軌跡がわかるエリアとなっています。その他中央公園には、炭鉱で働く人々のために炭鉱会社が建てた高さ8mにもなる3階建ての盆おどり櫓を再現し、三笠最大のイベント「三笠北海盆踊り(毎年8月13日、14日、15日開催)」の会場として現在活用されています。また、平成30年7月に三笠高校生が調理・接客を行う研修施設としてオープンした「三笠高校生レストラン エソール」も人気の施設となっています。



▲旧空知集治監典獄官舎レンガ煙突



▲千人塚史跡公園



▲三笠高校生レストラン



### 12 まんぶく食堂

【住】幸町6-11  
【Tel】01267-2-2429  
【営】平日 11:00~14:00  
16:30~21:00  
土・祝日 16:30~21:00  
【休】日曜日

① ホルモン鍋定食  
② ラーメン



### 13 くまがい食堂

【住】幸町11-8  
【Tel】01267-2-3047  
【営】平日 11:00~15:00  
【休】日曜日 祝日

① 味噌ラーメン  
② スタミナライス

## お問合せ先

### 三笠市役所 商工観光課

三笠市幸町2 ☎01267-2-3997

平日のみ 8:30~17:00

第1刷 2020年3月発行



三笠市観光HP



三笠ジオパークHP

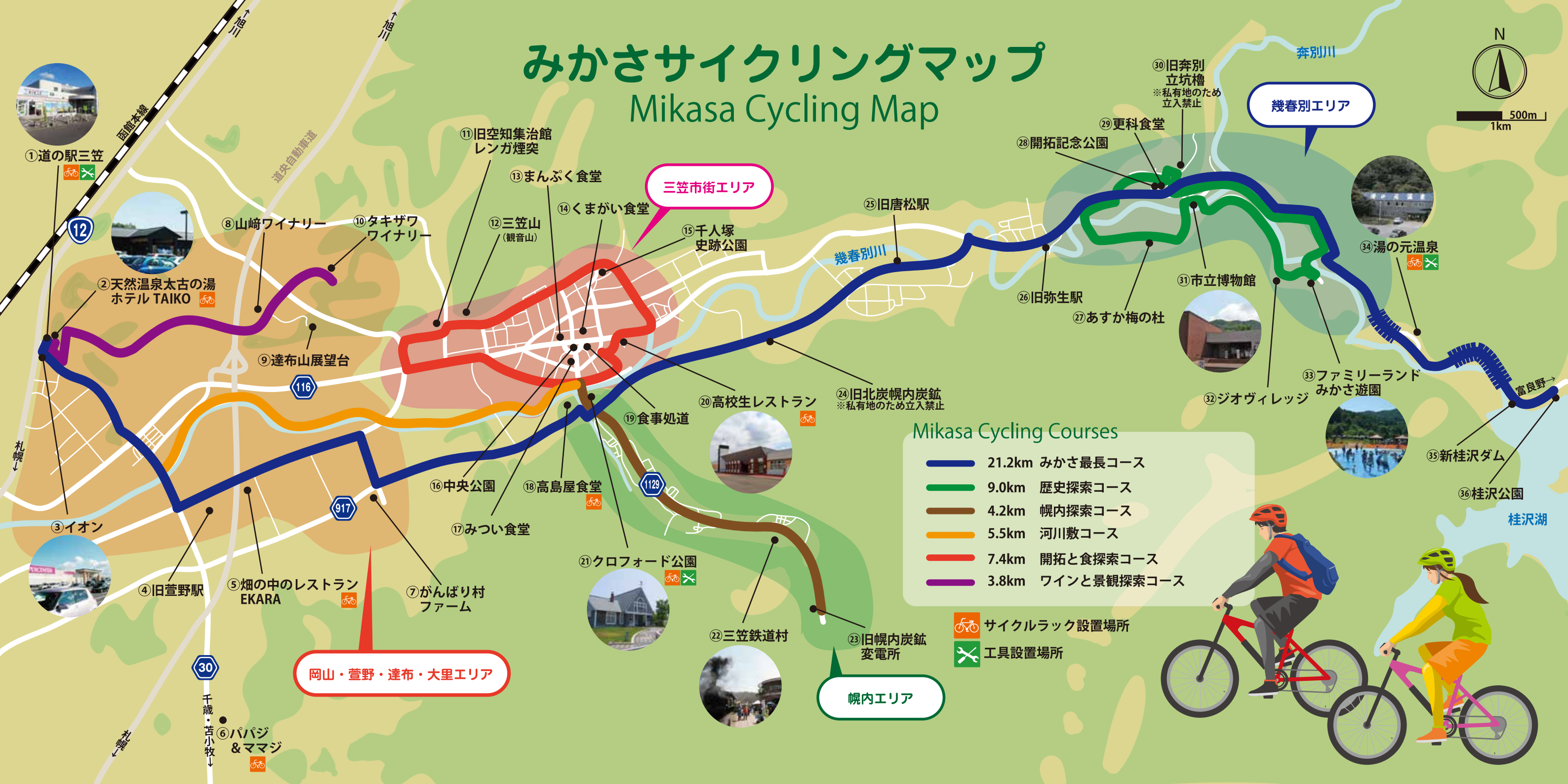


# みかさサイクリングマップ

## Mikasa Cycling Map



500m  
1km



### Mikasa Cycling Courses

- 21.2km みかさ最長コース
- 9.0km 歴史探索コース
- 4.2km 幌内探索コース
- 5.5km 河川敷コース
- 7.4km 開拓と食探索コース
- 3.8km ワインと景観探索コース

- サイクルラック設置場所
- 工具設置場所



岡山・萱野・達布・大里エリア

三笠市街エリア

幾春別エリア

幌内エリア